## 令和7年度 卒業生アンケート結果分析

IR 委員長 伊木亜子

令和6年10月の同窓会および令和7年8~9月に同窓生LINEを使用して登録の卒業生294名に対しFormsによるアンケートを実施した。回答数29件(9.9%)のうち、食物栄養学科卒業生が15件、函館医療保育専門学校・保育学科卒業生が14件であった。

「卒業した学校の教育内容に満足していますか」の問いに対しては、29 件中 28 件 (96.5%)が、80 点以上 (10 点刻み 100 点満点)と回答した。

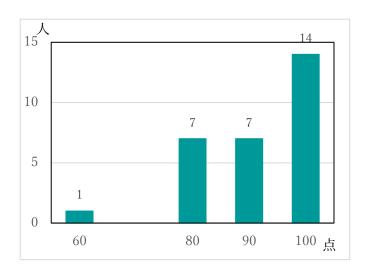


図1 「卒業した学校の教育内容に満足していますか」(n=29)

「卒業した学校の学生時代に学んだ専門分野は、現在の仕事とどの程度関連がありますか」の問いに対しては、「おおいに関連ある」との回答が16件、「やや関連がある」との回答が4件で計20件(69.0%)が「関連ある」と回答している。

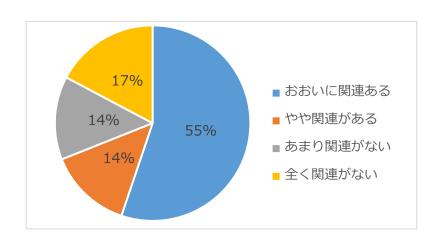


図2 「卒業した学校の学生時代に学んだ専門分野は、現在の仕事とどの程度関連がありますか」(n=29)

「仕事や日常生活の中で、卒業した学校で学んだことや経験が役立っていると感じることはありますか」の問いに対しては、「十分役立っている」との回答が14件、「ある程度役立っている」との回答が11件で、計25件(86.2%)が「役立っている」と回答している。

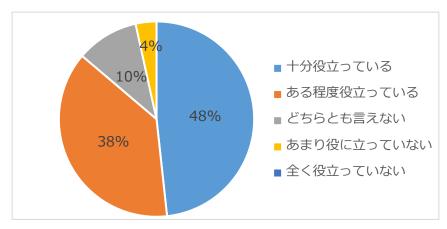


図3「仕事や日常生活の中で、卒業した学校で学んだことや経験が役立っていると感じることはありますか」 (n=29)

また、「函館短期大学での学びを通して在学生に身に付けて欲しいこと」として該当するものすべてを選択してもらう問いについて、「コミュニケーション能力」が 19 件、「専門性」が 14 件、「自己判断能力」が 13 件、「課題発見・解決能力」および「チームワーク」がいずれも 9 件であった。

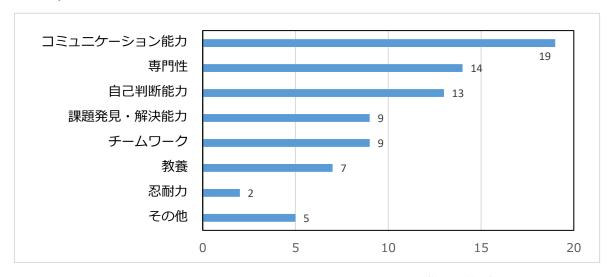


図4 函館短期大学での学びを通して在学生に身に付けて欲しいこと(複数回答可)

以上より、回答を得られた卒業生については、本学の教育内容に対し概ね満足していることが 窺われた。また、専門分野に関連した職業への就業にかかわらず、本学での学びや経験が役立っ ていると感じていることが示された。

その他、学生時代にやっておけばよかったと思うことについて、次ページに示す。

回答率は、R5年度は23%、R6年度は7%、令和6年度は7%と低く、教育改善へ反映するため、回答率を高くするための対策を講じなければならない。

## 保育学科

- 文献学習
- 必要を感じて勉強することは、たくさんあり、わからない事は調べたりしています。
- 療育について
- ・ 電話対応の仕方"
- 手作りおもちゃや、ペープサート等学生のうちに沢山作っておくと良かったなと思った。3~5分で使える小出しがあるとスキマ時間が豊かになると感じた。作ることを授業で行ったり、授業外時間に作ることを推奨して欲しい。
- コンピュータの使い方
- 保護者支援について、研修を受けています。学生時代にもっとリアルに学べると、就職 後も役立つと感じます。
- 音楽、歌、ピアノ、子どもの遊びと発達の関連性、主体的な学びについてもう少し深く 学んだり研究したりしながら就職後に活かせるものを身に付けたかった
- 国語力を身につけるべきだった。言葉や語彙力が足りず、全ての書類、文書作成時に時間がかかりすぎて、現代の働き方改革での勤務時間内ではなかなか終わらせられない。
- 就職してから他言語を勉強しています。
- 保育に関する勉強も大切だと思いますが、色々な人と協調してコミュニケーションができるような体験を自らやっていれば良かったと思いました。

## 食物栄養学科

- 学校・病院・企業・施設などの校外実習を3か月、半年、1年など長期に渡ってもっと体験したかった。
- 栄養について
- 学生時代はただなんとなく過ごしていました。もっと真剣に授業に臨めば、もっと社会に出てから役立てられたかなと思います。(特に簿記の授業)
- 今よりも学校行事がたくさんあって楽しく過ごせました。
- 食品の原材料や添加物に何が使われているか(アレルギー物質は含まれていないか)、 食種展開の仕方、治療食の展開(制限するものなど)
- 調理、最低限の仕込み・切り込み技術、それらに関する知識、料理の具材の量に対する 調味料の量、具材のグラムのイメージ(例 $\rightarrow$ 30 g の豚小間がどのくらいの量なのか、な ど)
- やりたいことを見つけてやり遂げる能力
- 遊び
- ひとつひとつの授業にもう少し真剣に取り組めばよかったと後悔しております…。
- 自発性
- 家庭科教諭等できるだけ取れるものはとっておいたらよかったとおもいました